



## 時代を担う議会を目指して

稲沢市議会議長 木村喜信

## 未来を見据え 市民が幸福しあわせを実感できるまちへ

稲沢市長 加藤錠司郎



市民の皆さま、あけましておめでとうございます。

新春を迎え、皆さまのご健康とご繁栄を心よりお喜び申し上げますとともに、日ごろから議会活動に対して、温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年来、新型コロナウイルス感染症の拡大が、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期をはじめ、さまざまな事業や企業の経済活動などにも影響を及ぼし、依然として終息が見通せない状況であります。

今後、市の財政状況も、これまで以上に厳しいものとなり、事業においても取捨選択が必要になってくるものと考えます。

本市の課題の解決と円滑な行政運営を進めるため、二元代表制の役割を認識し、市政の監視役として、市民の皆さまから付託を受けた重責を全うするべく、困難に臆することなく努めてまいります。

さて、昨年12月から加藤市長による2期目の市政運営が始まっております。

このような厳しい状況ではありますが、活力ある魅力的な市への発展、人口減少社会や新型コロナウイルス感染症対策などへの、今後の手腕に期待いたします。

稲沢市議会としては、常に市民の皆さまの目線に立った議会でありたいと考えております。行政の動きを的確に捉えて、市民の皆さまが住み慣れたまちで安心して暮らせるように、未来明るい「まちづくり」への協力を進めてまいりたいと考えます。

また、ICT化などの新たな時代に対応するとともに、開かれた議会を目指し、不断なる議会改革に努め、議員一人一人が責任の重大さを十分認識し、職務に邁進してまいります。

市民の皆さまにおかれましても、この2021年が明るく豊かな年になりますよう心から祈念しまして、新年のごあいさつといたします。

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

このたび、引き続き稲沢市長として市政を担当させていただくことになりました。2期目の市政運営につきましても、1期目に掲げた「人にやさしく活力あるまちづくり」の取り組みをさらに深化させ、市民の皆さまが幸福しあわせと感じていただけるようなまちづくりを進めてまいります。

令和3年3月には、小・中学生に1人1台のタブレット型パソコンを整備いたします。今後はそのタブレット端末を活用したICT教育の推進や、コロナ禍などの長期休業時におけるオンライン授業の検討など、学校教育環境の向上に努めてまいります。また、一部の小・中学校で実施している学校運営協議会を今後は市内全小・中学校に広げ、地域の方々の学校運営への参画を推進するなど、引き続き「子育て・教育は稲沢で！」の実現に取り組んでまいります。

また、実証実験中である「稲沢おでかけタクシー」の本格運行への移行、フレイル対策や地域包括ケアシステムの強化など、高齢の方がいつまでも健康に過ごすことができる、またそのご家族の負担が軽減され、安心できる仕組みづくりを行ってまいります。

さらに、市役所東庁舎における「福祉相談のワンストップ化」、投票所や避難所として利用される小・中学校の屋内運動場のバリアフリー化およびトイレの洋式化など、市民の皆さまの安心・安全を守る施策を進めるほか、名鉄国府宮駅周辺の再整備や住居系新市街地の形成、昨年10月に実施した店舗の魅力を発信する「まちゼミ」の拡充など、活力ある魅力的な市として発展していくための施策も進めてまいります。

人口減少社会やWith/Afterコロナ社会など、困難な状況下におきましても、将来にわたって安定した行政サービスを提供していくため、引き続き全力を傾注してまいります。

結びに当たり、今年一年が皆さまにとって幸多き、素晴らしい年になることをお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。